

英国の 半導体工場



佐々木 元
日本電気 特別顧問

この写真は、1998年のエディンバラ・フェスティバルのNEC主催のコンサート会場にトニー・ブレア首相が、音楽好きで毎年招待していたスコットランド首席大臣のドナルド・デュワー氏（2000年逝去）に誘われてお忍びで出席された時のものです。

NECはお客様へのベターサービスを提供すべく、半導体事業においては、他社に先駆けて欧州、北米、中国の各地に一貫生産工場を設立してきました。1981年にスコットランドのリビングストーン市にNECセミコンダクターズUK社を設立して64KビットDRAMの生産を開始し、1983年にはエリザベス女王陛下の臨席を得て同社の開所式が行われました。LSIという最先端技術に対して英国が強い関



① 現在は英国の大手スーパーマーケットTESCOの物流センターとなっているNECセミコンダクターズUKの跡地。敷地総面積は518,000m²。(2008年7月撮影)



① 1998年エディンバラ・フェスティバルのNEC主催のコンサート会場にトニー・ブレア首相を迎えて。右から、筆者、故スコットランド首席大臣ドナルド・デュワー氏、トニー・ブレア首相、NECセミコンダクターズUK社後藤社長。

心を持ち、NECの工場進出による技術移転、雇用創出などを通じた地域活性化が高く評価されたことによるものと自負しています。

1980年代には、スコットランド中部に位置するダンディー、インヴァークライド、エディンバラの3都市を結ぶ地域は「シリコングレン」という愛称で呼ばれる情報技術産業の集積する地であり、NEC、モトローラ、ナショナルセミコンダクター、そして半導体材料、製造装置関連の企業が拠点を築きました。NECの工場も1997年には新工場を増設してDRAMに加えて携帯電話向けLSIや欧州のお客様向けのカスタムLSIを提供するなど、ハイテクの拠点として世界の注目を集めていました。

ところが、2000年のITバブルの崩壊による半導体市況の低迷で稼働率が大幅に低下し、2002年4月に工場を休止するという苦渋の決断に到り、同業他社も事業撤退を余儀なくされました。その後NECの工場は更地化され、跡地は英国大手スーパーのTESCOに売却され物流センターとなっています。

2008年7月に出張の合間に懐かしの地の変貌を見てきました。改めて半導体産業の厳しい構造変化を実感すると共に、異国の地であって、寝食を忘れ工場の建設・稼働に情熱を注いだ人々の思いが頭をよぎりました。